



私たちも一緒に考えます!!

私たちが働く「八戸中心街ターミナルモビリティセンター（通称：モビセン）」は、いわば“路線バスの総合案内所”。

「できるだけ多くの方にバスを使ってもらうために」
「できるだけ多くの方がバスを心地よく使えるように」

窓口での案内以外にも、いろいろな取り組みに挑戦しています。

八戸市の市民として、まずは自分たちにできること。
多くの市民の方と、一緒に考え、行動していきたいと思います。



何よりも気持ちのやりとりが大切ですね!



日夜、分かりやすい時刻表作成に燃えています。



なんでもご相談ください!明るく元気にお答えします!!



正確な情報をきちんとお伝えします。ブログもよろしく!



ひとつひとつを丁寧に。日々邁進です!



優しさで親切さなら、ほくにおまかせください。



市民から親しみを持ってもらえるモビセン目指します!



明るくにぎやかなモビセン。是非お越しください。



どろどろのわらすがしっかりご案内します。



常に利用者の方の立場に!お手伝いの基本です!!

八戸中心街ターミナルモビリティセンター

- 住所 八戸市大字三日町14-2 青山テラス(旧笹川ビル)1階
- 電話 / 0178・20・9150
- F A X / 0178・45・3280
- 営業時間 / 9:00~18:00 (土日祝日は17:00まで) ※定休日なし

※3番のりばバス停までは、横断歩道を渡りましょう



はじめに

——バスについて考える

「バスについて考えること」。

それは普段バスを利用していない人にとって、

あまりピンとこない「こと」かも知れません。

けれども、少なくとも、今バスを利用している人はきっと知っています。

バスが“ありがたい”ものであることを。

そして、多くの人がきっと考え始めています。

大切なバスを“守る”ことを。

ここでは、

普段バスを利用しているかどうかはいったん置いておきましょう。

そして、少しでも一緒に考えてみませんか？

バスのこと。マチのこと。家族、友だち、そして自分自身のこと。

【八戸市のバス事情】

(市営バス・南部バス・十和田観光電鉄の実績値より算出)

この10年間で3割以上減少

事実・1

平成11年度に八戸市内の路線バスを利用した人：1,495万人
平成21年度に八戸市内の路線バスを利用した人：992万人

事実・2

八戸市内の路線バス全163系統のうち、7割以上が赤字(H21年度)

事実・3

バス事業者の営業収支は、合計で4億円以上の赤字(H21年度)

これが、皆さんの住む「八戸市のひとつの現実」です。



Comparison of a Bus and a Passenger Car

バスとクルマの 意外なおはなし

職場、学校、買い物、
病院、友だちのお家。
自宅から少し離れた場所に行くとき、
あなたはバスで行きますか？
それともクルマで行きますか？

多くの人はクルマで行くでしょう。
なぜなら「クルマはバスより便利で、
快適で、どこへでも行けるから」。

確かに、“便利”さで言えば
バスはクルマにかなわないかも知れません。
でも、少し視点を変えて
考えてみてほしいのです。

ここでは、単なる“便利さ”とは
ちょっと違う視点から
「バスとクルマの意外なおはなし」を
ご紹介します。

Comparison of a Bus and a Passenger Car 01

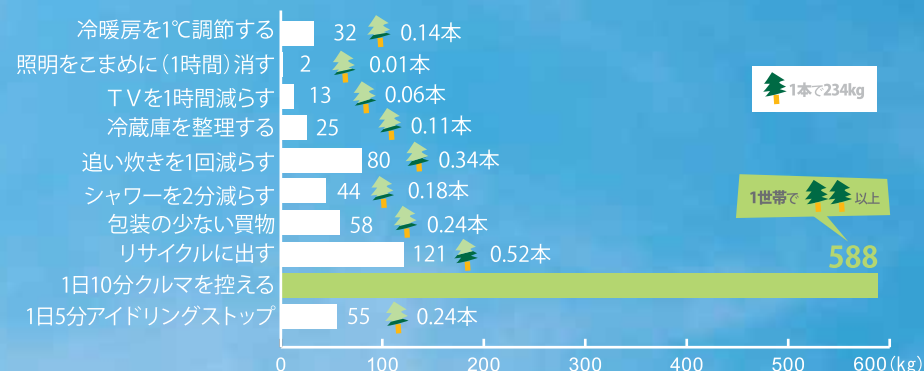
地球環境のおはなし

もはや誰もが聞いたことがある温暖化のはなし。
その原因の一つとされるのが二酸化炭素(CO₂)。
多くの方が、その削減に少しでも役立つような
ちょっとした気遣いや工夫を実践しています。

そんな視点で「クルマをちょっと控えること」を見てみると、
★『CO₂の削減効果が抜群！』
であることがわかります。

あなたが「クルマで行っている行き先」のどれかは、
バスでも意外と簡単に行けるかも知れません。
あなたの気遣いや工夫の一つに、
新しく『バス利用』を加えてみませんか。

【エコ活動により減らせるCO₂量】



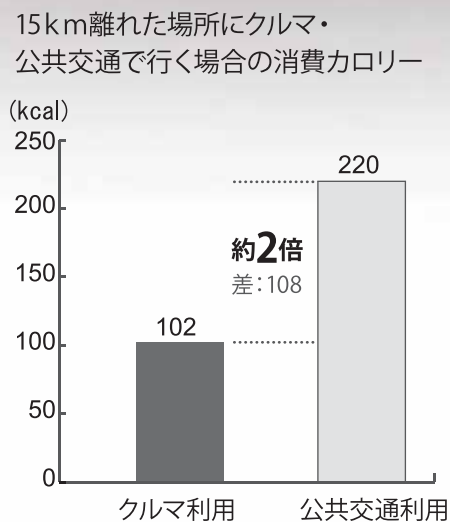
健康のおはなし

誰もが気になる健康のはなし。
でも、健康のためとは言え、毎日の運動は
そう簡単にはできませんよね。

しかも、クルマばかりを使っていると、
日常の中での「歩く機会」が
ずいぶん減ってしまいます。
一方、バスなどの公共交通を使っていると
自然と「歩く機会」が増えてきます。

生活習慣病や
頭の働きにもよいとされている「歩くこと」。

普段の通勤やお買い物など、
日常に『バス利用』を取り入れることは、
あなた自身の健康の面からも、
考えてみる価値がありそうです。



“気持ち”のおはなし

公共交通であるバスとクルマの大きな違い。
それは、「他の人」がいること」です。

“公の場”であるバスでは、
「迷惑をかけない・ゆずりあう・あいさつをする」など
さまざまな気持ちのやりとり、気遣いが生まれます。

“個人”で移動するクルマでは、
“他の人”との気持ちのやりとりは生まれにくいもの。

実際に、小さい頃からクルマばかりで移動していた人は
「わがままになりやすい」という驚きの調査結果もあります。

ふれあうことの大切さ。

バスには、
そんな当たり前の「大切なこと」も含まれているのですね。

もう歳だし、クルマの運転をやめて、
バスに乗るようになりました。
すると、ずいぶん昔の友だちと再会
したり、学生さんたちの元気な姿を
毎日目にして、なんだか気持ちごと
にもにぎやかになりました。

